

週間漁海況情報—第19号

平成28年5月17日

内容は水産研究課ホームページでも公開しています。
更新は、原則として火曜日夜間におこないます。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温

下に、5月16日時点の海況図を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸(前週やや離岸)、潮岬沖で接岸(同接岸)している。

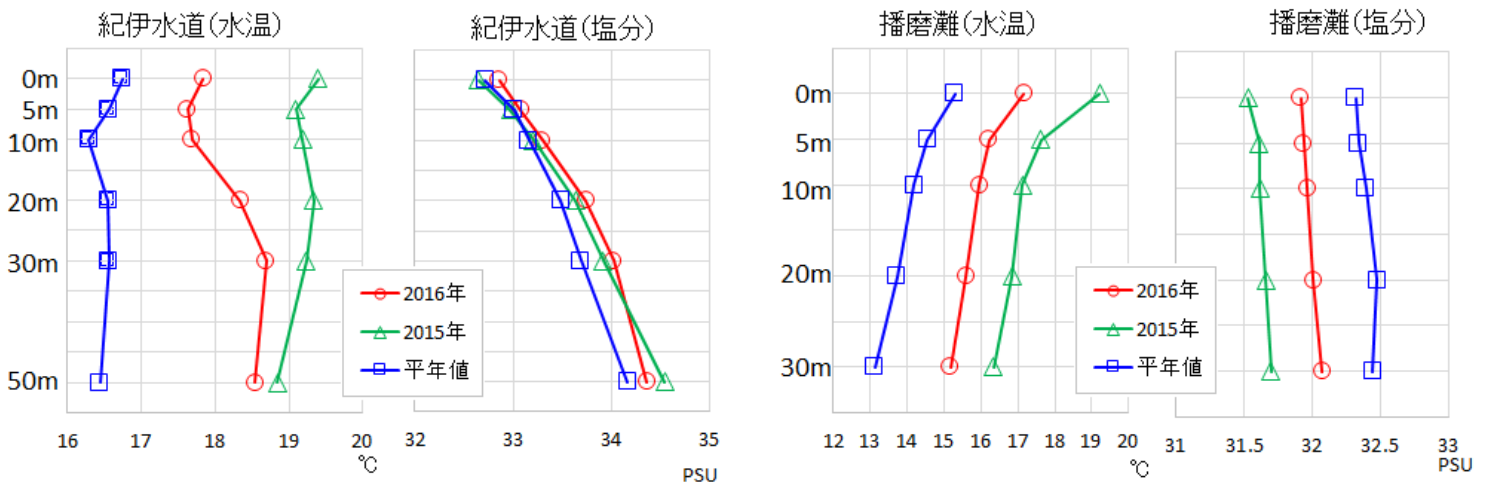
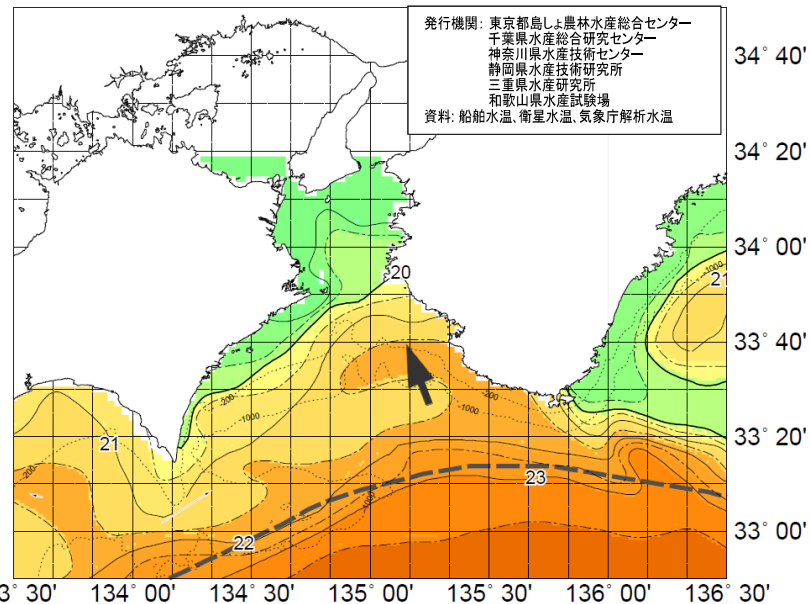
黒潮本流の表面水温は22℃～24℃台である。

紀伊水道外域では、和歌山沿岸で暖水の入り込みが見られる。

徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で16℃～17℃台、紀伊水道で17℃～19℃台、海部沿岸では18℃～20℃台である。

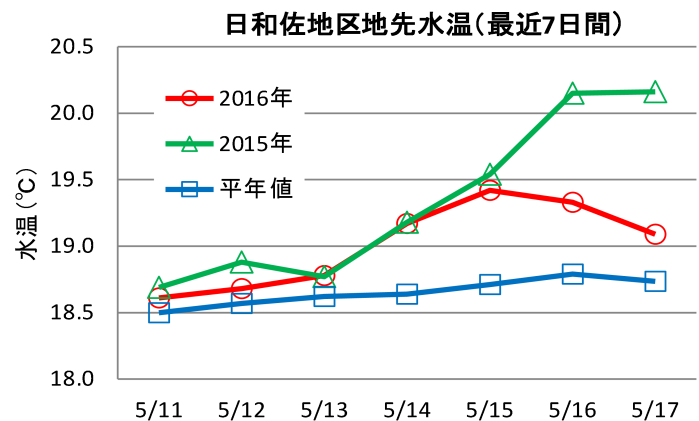
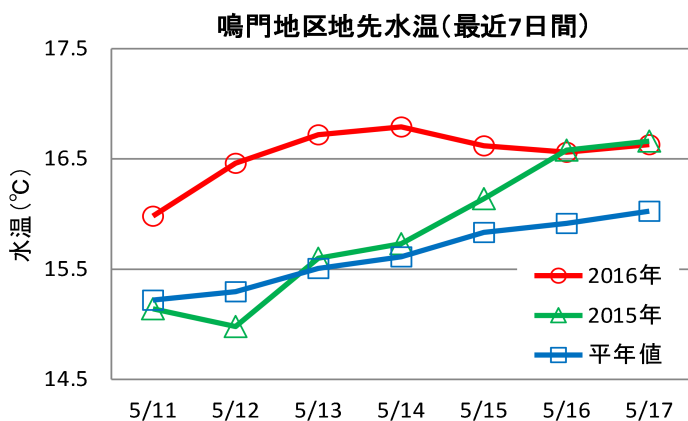
5月2日、9日および12日に紀伊水道でおこなった海洋観測では、全水深で水温は高め、塩分は平年並みであった。

5月13日に播磨灘でおこなった海洋観測では、全水深で水温は高め、塩分は低めであった。



2. 地先水温

最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の16.0℃～16.8℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の18.6℃～19.4℃、牟岐地区は「やや高め」の19.3℃～20.2℃で、いずれの地区でも期間の前半に上昇し、後半にやや下降した。



3. 週間予報

黒潮は、潮岬沖で「接岸」、室戸岬沖で「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地区で「やや高め」～「高め」、日和佐地区では「平年並み」で推移する見込み。

漁況 5月9日～5月15日

1. 紀伊水道(標本漁協:3)

全体の漁獲量は大きく増えた。

船びき網は、シラスが大きく増えて161ト水揚げされた。

延縄ではハモが増えて6.7ト、タチウオが前週並みの1.6ト、ゴマサバが大主体に大きく増えて0.2ト水揚げされた。

底びき網ではハモが増えて1.9ト、マナガツオが0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協:4)

全体の漁獲量は前週並み。

小型定置網、大型定置網で、小型のいわし類が多く水揚げされている。

小型定置網では、いわし混ざりが11.6トのほか、マイワシが7.1ト、ウルメイワシが2.2ト、大型定置網では、いわし混ざりが12.1ト水揚げされた。いわし混ざりには、いわし類3種のほか、キビナゴ、ひいらぎ類、ネンブツダイ等が含まれる。

大型定置網ではこのほか、マルソウダが減ったものの2.0ト、特大主体にマアジが増えて1.2ト、メジロが減って0.7ト水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲量の多いものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	112	シラス	161,000	1,438		↗↗
		延縄	49	ハモ	6,684	136	
	65		タチウオ	1,592	24		→
	30		ゴマサバ	242	8	大主体	↗↗
	27		えそ類	214	8		↗
	58		カワハギ	412	7	大主体	↗
	建網	30	さめ類	280	9		↗
		小型定置網	17	ブリ	481	80	
	20		マアジ	319	16	特大主体	↗
	14		メジロ	272	19		↗
	13		アイゴ	267	21		↘
	17		マダイ	226	13	小小主体	↘↘
	底びき網	40	ハモ	1,916	48	中主体	↗
		27	マダイ	359	13		→
		7	マナガツオ	338	48		↗↗
		31	えそ類	305	10		↗↗
35		いとより類	250	7		↘↘	
42		クマエビ	233	6		↗	
海部沿岸	延縄	20	アカムツ	393	20		↗↗
		40	キダイ	225	6	大主体	→
	小型定置網	14	いわし混ざり	11,562	826		→
		20	マイワシ	7,134	357		↗↗
		26	ウルメイワシ	2,236	86		↗↗
		24	マアジ	900	37		↘
		10	マルソウダ	254	25		→
	大型定置網	7	いわし混ざり	12,113	1,730		↗↗
			マルソウダ	1,967	281		↘
			マアジ	1,193	170	特大主体	↗
			メジロ	678	97		↘↘
			とびうお類	499	71	中主体	→
		シイラ	419	60	小主体	↗↗	
		イサキ	347	50		↘↘	
	ヒラソウダ	317	45	大主体	↗↗		
	ブリ	208	30		↘↘		

※ 前週比 200%以上:↗↗、120%~200%:↗、80%~120%:→、50%~80%:↘、前週比50%未満:↘↘